

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 3 月 30 日作成)

小委員会名	温熱感小委員会	主 査 名：深井 一夫 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (熱環境運営委員会)	委員長名：久野 覚 主 査 名：猪岡 達夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、これまでの温熱感研究をふまえ、今後の温熱環境に関する研究の展望を模索し、必要に応じて調査・研究すること、および適宜な情報発信を行うことを目的とする。</p> <p>具体的には、前年度までの成果に基づき、温熱感に関する特定問題に対する調査・研究、温熱感に関わる最新の研究のレビュー、シンポジウムを企画・開催、学術規準（アカデミックスタンダード）の企画・作成等を行う。</p>	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：無	
	磯田憲生（奈良女子大）、永村一雄（大阪市立大）、都築和代（産総研）、斎藤輝幸（名大）、土川忠浩（兵庫県立大）、大野秀夫（大野研究室）、梶井修通（近畿大）、久野覚（名大）、山岸明浩（信州大）、深井一夫（横浜国大）、横山真太郎（北大）、田辺新一（早稲田大学）、松原斎樹（京都府立大）、高田暁（神戸大学）、三上功生（東京理科大学）	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>1. 現状分析情報発信WG（主査：山岸明浩／信州大）（継続 2 年目） 近年の我が国における温熱環境に関する研究の動向調査を行う。</p> <p>2. 温熱環境学術規準WG（主査：土川忠浩／兵庫県立大）（継続 2 年目） 温熱感の学術基準の策定について検討を行う。</p>	
2010 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. シンポジウム 多様な温熱環境の評価とデザイナー温熱感研究の広がり－ (2011/3/10 開催) (資料名) 多様な温熱環境の評価とデザイナー温熱感研究の広がり－シンポジウム資料
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. 現状分析情報発信WG主催のシンポジウム『多様な温熱環境の評価とデザイナー温熱感研究の広がり－』を企画し、2011/3/10 に開催した。</p> <p>2. 今後の学術規準の企画・作成について方向性を定め各規準・解説書の刊行に向けて作業を継続した。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	1. 委員がそれぞれ多忙であり、旅費も十分になく、委員会開催が十分にできているとはいえないが、メール審議を活用し、大会やシンポジウム開催に合わせて小委員会を開催し効率的に委員会活動を行うことで、成果を上げることを目指す。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。